

# ことわざ(初級)プリント

月 日 名前 \_\_\_\_\_

問1 「良薬は口に（ ）」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 酸っぱし                      2. 苦し                      3. 渋し                      4. 辛し

問2 「光陰矢のごとし」の意味はどれですか？

1. 月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと      2. 時間は矢のようにまっすぐ進むものだということ      3. 光と影のように時間はあっという間に過ぎること      4. 光のように速く走れば矢に当たらないこと

問3 「覆水（ ）に返らず」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 皿                      2. 盆                      3. 器                      4. 桶

問4 「犬も歩けば棒に当たる」の意味はどれですか？

1. じっとしていないで外に出れば、必ず良いことがある      2. 無駄な動きをすると、かえって悪い結果を招く      3. 何かをしようとする行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある      4. 犬のように活発に動けば、誰かに褒められることがある

問5 「二度あることは三度ある」の意味はどれですか？

1. 二度あることは、三度目には必ず良い結果になるということ      2. 二度失敗しても、三度目には必ず成功するという教え      3. 一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ      4. 同じことを三度繰り返すと、ようやく身につくということ

問6 「能ある鷹は爪を隠す」の意味はどれですか？

1. 実力がない人ほど自分を大きく見せようとする      2. 鷹は爪を隠すことで獲物を油断させる      3. 鷹は獲物を捕まえる時に爪を隠す      4. 実力のある人は、それをひけらかしたりしない

問7 「急がば」に続く言葉はどれですか？

1. 回れ                      2. 進め                      3. 走れ                      4. 近道

問8 「早起きは」に続く言葉はどれですか？

1. 一文の徳                      2. 三文の徳                      3. 十文の徳                      4. 五文の徳

問9 「七転び」に続く言葉はどれですか？

1. 十起き                      2. 八起き                      3. 七起き                      4. 九起き

問10 「弘法も筆の」に続く言葉はどれですか？

1. 練習                      2. 誤り                      3. 間違い                      4. 失敗

問11 「井の中の蛙大海を知らず」の意味はどれですか？

1. 狭い場所でも工夫すれば快適に暮らせる      2. 井戸の中に住むカエルは海を見たことがない      3. 狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる      4. 小さな場所で満足しているほうが幸せである

問12 「猿も木から」に続く言葉はどれですか？

1. 落ちる                      2. 登る                      3. 転ぶ                      4. 滑る

問13 「二兎を追う者は」に続く言葉はどれですか？

1. 一兎をも得ず                      2. 一兎を得る                      3. 二兎を得る                      4. 二兎をも得ず

問14 「千里の道も一歩から」の意味はどれですか？

1. 千里の道は一歩の積み重ねでできているという教え      2. 遠い道のりも一歩ずつ歩けばすぐ着くということ      3. どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ      4. 千里の道に行くには一歩ずつ歩くのが一番早い

問15 「魚心あれば（ ）心」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 川                      2. 水                      3. 海                      4. 池

問16 「類は友を」に続く言葉はどれですか？

1. 呼ぶ                      2. 作る                      3. 探す                      4. 集める

問17 「月夜に提灯」の意味はどれですか？

1. 月夜に提灯を下げて夜道を照らす準備をすること      2. 明るい月夜に提灯を下げてても無駄であるように、不必要なことのたとえ      3. 月夜に提灯を下げればより明るくなるという教え      4. 月夜に提灯を下げて歩くほど慎重であるべきだという教え

問18 「口は災いの元」の意味はどれですか？

1. 自分の秘密は自分で守らなければならない      2. 言葉は少ないほうが相手に伝わりやすい      3. 口を動かして食べないと健康を損なう      4. うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 苦し	「良薬は口に苦し」の「苦し」の部分が入ります。意味は「自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ」です。
問2	答え 1 月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと	「光陰矢のごとし」は「月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと」という意味です。
問3	答え 2 盆	「覆水盆に返らず」の「盆」の部分が入ります。意味は「一度起きてしまったことは、二度と元には戻らない」です。
問4	答え 3 何かをしようと行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある	「犬も歩けば棒に当たる」は「何かをしようと行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある」という意味です。
問5	答え 3 一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ	「二度あることは三度ある」は「一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ」という意味です。
問6	答え 4 実力のある人は、それをひけらかしたりしないこと	「能ある鷹は爪を隠す」は「実力のある人は、それをひけらかしたりしないこと」という意味です。
問7	答え 1 回れ	「急がば回れ」の続きは「回れ」です。意味は「急ぐときほど、かえって遠回りのように見えても確実な方法をとるほうが結果的に早い」です。
問8	答え 2 三文の徳	「早起きは三文の徳」の続きは「三文の徳」です。意味は「朝早く起きると、健康によかったり少しだけ良いことがあるということ」です。
問9	答え 2 八起き	「七転び八起き」の続きは「八起き」です。意味は「何度失敗しても、くじけずに立ち上がって努力すること」です。
問10	答え 2 誤り	「弘法も筆の誤り」の続きは「誤り」です。意味は「その道の達人であっても、時には失敗することがあるということ」です。
問11	答え 3 狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる	「井の中の蛙大海を知らず」は「狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる」という意味です。
問12	答え 1 落ちる	「猿も木から落ちる」の続きは「落ちる」です。意味は「その道に優れた名人でも、時には失敗することがある」です。
問13	答え 1 一兎をも得ず	「二兎を追う者は一兎をも得ず」の続きは「一兎をも得ず」です。意味は「欲を出して同時に二つのことをしようとすると、どちらも失敗する」です。
問14	答え 3 どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ	「千里の道も一歩から」は「どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ」という意味です。
問15	答え 2 水	「魚心あれば水心」の「水」の部分が入ります。意味は「相手が好意を示せば、こちらも好意で応じる気持ちになるということ」です。
問16	答え 1 呼ぶ	「類は友を呼ぶ」の続きは「呼ぶ」です。意味は「似た者同士は自然と集まりやすい」です。
問17	答え 2 明るい月夜に提灯を下げても無駄であるように、不必要なことのたとえ	「月夜に提灯」は「明るい月夜に提灯を下げても無駄であるように、不必要なことのたとえ」という意味です。
問18	答え 4 うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある	「口は災いの元」は「うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある」という意味です。